

瀬戸市校長会

瀬教労は、8月21日、20年度の要請書を校長会長に提出しました。

1. 教職員の多忙化解消に向けて、当面、県教委や文科省が発表した「教員の多忙化解消プラン」の具体化に向け、関係機関への働きかけを含めて取り組むこと。

2. 校長が命じた時間外勤務については、その割り振りをを行うのは校長の責務であり、すべての教職員が割り振りをきちんと取れるようにすること。また、日常でも割り振りを取りやすくするために、個人別の割り振り変更簿を設置し、その活用に向け、以下の内容に留意すること。

(1) 「割り振り変更簿」を設置したことと、「割り振り変更簿の使い方」を全職員に分かりやすく説明すること。

3. 学級学年事務や現職教育などの時間がきちんと確保され、勤務時間内に仕事が終わえられるような体制づくりに向け、特に以下の内容に関して改善を進めること。

(1) 打ち合わせや会議を減らしたり、余剰時数(標準時数を上回った時数累計)の活用で午後の授業を一部カットして、必要な時間を生み出すための具体的な対応策を講じること。

(2) 行事や会議などの各種業務の内容や取り組みを見

直し、業務の簡素化や削減などで仕事量を減らす取り組みを進めること。

4. 昼の休憩が取れなかったときは、7時間45分の勤務で終了を16時15分とするこ

5. 暴言や侮辱といったパワハラ・ハラスメントは、教職員の身分の侵害及び人権侵害につながる重大問題であり、絶対に行わない、行わせないこと。「パワハラ防止指針」(2020.3.31 一部改正)を全員に配付すること。

1. 在校時間状況記録より把握できる超40時間・80時間・超100時間の時間外労働をしている教職員に対し改善策を示すとともに、該当者が医師の面接指導を確実に受けるように指導すること。

7. ICTについて、国や自治体(愛知県・瀬戸市)に働きかけること

(1) 教職員の負担軽減と専門職員を配置すること。

(2) タブレット端末における健康被害の防止をすること。

8. 少人数学級・小規模校の実現に向けて国や自治体(愛知県・瀬戸市)に働きかけること

(1) 20人以下の少人数学級の実現

(2) 5・10年後の学校規模を想定し、大規模校解消の具体的な施策や対策を示す

こと。

9. コロナ対策について市教委に働きかけること

(1) 集団感染によるリスクが高い教職員等への定期的なPCR検査を行うこと。

(2) 学校におけるコロナ感染拡大を防止するために必要な条件整備を行うとともに、必要な財政措置を行うこと。

① すべての学校に必要な学習支援員、サポーター、ICTアドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を増員加配すること。

② 子どもたちの指導にあたる教職員を確保するために、不要不急な出張や研修を行わないようにすること。

③ すべての子どもたちが利用可能な手洗い場の整備や、消毒液、液体せっけん等の確保が確実にできるよう措置すること。

④ 校内の清掃・消毒活動を教職員が行うのではなく、専門の業者等を配置すること。

⑤ 看護師を各学校に配置すること。保健所や学校医・感染症専門医師等と連携し、保健室等での詳細な対応マニュアルを作成すること。

医療的ケアを必要とする児童生徒のための医療スタッフを配置・増員し、必要な物品を確保すること。

(3) 教職員の感染を防止するために必要な条件整備を行うとともに、必要な財政措置を行うこと。

① 職員室等での「3つの密」を防ぐ手立てを確立するために、各学校の実状を把握し必要な財政措置を行うこと。

② すべての教職員の検査体制を早期に確立すること。

③ 妊娠中の教職員や基礎疾患を持つている教職員の感染防護対策をとること。

④ すべての学校で衛生委員会で感染防止対策を具体化するとともに、研修を行うこと。

⑤ 教職員が学校において感染した場合、公務災害となることを周知すること。

10. いっそうの長時間労働をまねく「1年単位の変形労働時間制」の導入をしないこと。

※ 詳細はHPをご覧ください。

以下省略...

日時：9月6日(日)
午後1時半～午後4時

場所：文化センター12

助言者：山口正先生(日福大)

前回の交流会では、7月初めの豪雨の際、各学校でどんな対応があったかの交流から話が始まり、にじの丘学園への路線バス通学の不安と危険が出されました。

瀬戸子育て連絡会ぐねっと

2学期をスタート

子どもに寄り添って...

短い夏休み、一週間早い2学期の開始。

暑さも盛りで、コロナ・熱中症対策で学校現場は大変な毎日。

2学期がスタートしたばかりなのに心配事が絶えません。特に、小学校1年生は初めての学校生活、通常の1学期の学習の履修が不十分なまま夏休みに突入してしましました。また、中学校1年生は新たな教科の学習や部活動などで悩み事があるかもしれない。中学校3年生は進路のことを考えると落ち着かない日々でしょう。



二ヶ月間の空白で授業の進度が気になりますが、ゆっくといいねいに子どもに寄り添った授業展開をしたいものです。

教職員に安心・安全、余裕を...

ウイズコロナで、教育活動に緩和が見られるようになりまし。以前の学習形態に一部戻りつつありますが、コロナ対策は十分に行わなければならない。

少人数学級の実現、PCR検査の実施、密を避けた職場環境の改善、教育活動に専念できる「ゆとり」の確保などが求められます。



